

第2期ゆめ・みらい百人会議第3回全体会 会議要録

1. 開会

2. 仮グループ別の自由協議・交流

第2回目全体会に引き続き、4つの仮グループに分かれて自由に話し合いを行なった。

3. 協議内容のグループ別発表

(福祉・健康・教育・文化)

話し合いを行なう中で、話があちらこちらに飛ぶ。何か柱を設定したいという話をした。自分達の中で何をやっていって、継続して残していけるような方向性に持っていきたいという話をさせてもらった。範囲が広いので、誰が何に取り組んでいくか、老人介護の方に重点を置くとか、この人は教育分野を担当するなど、そういったところの話をさせてもらった。決まった曜日に集まりたいという話もした。

(防災・まちづくり)

前回の活動の話を聴いたが、提案を発表した後、市はそれを聞いているだけで返事はなかった。そういうことでは、今回これをやっても、我々が議論していることを、どのように市に伝わるのか、全く分からない状態で2年間やっても無駄ではないかという結論が出た。

例えば、今日はこういう意見が出た、それについてどう思うかというのを会議に参加してグループに入ってもらった市職員に渡して、次回までに返事をもらうとか、そういうシステムがないと、あと少しで市長選があり市長が変わったら（この集まりも）なくなることも考えられる。市長が現職のうちにある程度やりとりを行なうようなことがほしい。これが今日話し合った結論である。

(行財政改革)

旧のメンバーだけで集まっているため、話の内容としては前回の活動の反省とか、現在の市政の状況とかの雑談であった。市長が変わるか変わらないかというのはかなり大きな関心で、へたをするとこれから2年の活動で自分達が提言を出したとしても、「ああそうですか」で終わってしまう可能性がある。現職が現職でいるうちに中間報告を出した方がいいのではないか、来年の3月ぐらいを目途に報告書を出して、今の市長から何らかの回答をもらった方がいいのではないかという話をした。

(観光・商工)

みなさんでぎっくばらんに、島田市にある観光などの資源を活かせる方法がないかを話しあって、特に結論は何もない。みなさんのいろいろな思いを語ってもらっただけである。

提言のことも特に話は出なかった。百人会議の意見を汲み上げる仕組みがあったらいいといった話をしただけである。

— 一回の第4回目全体会について —

(事務局)

今回同様に自由に話をする場とするか意見を伺いたい。事務局としては、次回の全体会では、ある程度グループ分けをイメージしながら自由に話をさせていただいて、グループが出来上がってくればよいと考えている。

(意見)

今回はそれでも良いが、意見を出したら返事をもらえるようにしてもらえるのか、それができないと、やっても意味がないから(活動自体)やめようかなと思う。

(事務局)

この会議がずっと全体会で進めて行くということは、事務局として考えていない。仮の4グループで話をさせていただいているが、その中でだんだんと(グループが)固まってくる。そんな中で、例えば、防災や福祉のことを担当課に聞いていただくというのは構わない。

10回意見が出たものを、10回返事を返すというスタイルは、事務局としては想定していない。グループが分科会となっていく時、その中で個別に各課の職員と話をしていただきたい。第1期の時は市長への提案という形で出させていただいて、市からはそれに対して回答をした。これは第1期のスタイルだが、一つの前例・方向性のイメージとして事務局も持っている。

活動する中で疑問が出て協働推進課に言っていただいても、協働推進課から担当課へ伝えるということもできる。

(意見)

協働推進課にメールで問合せをすれば、回答をもらえるといったようにしてもらえると助かる。

(事務局)

(その都度その都度やりとりするといった) そういったイメージは持っていない。

(意見)

5月頃に市長選だから、やはり3月ぐらいには何か結論を出すようなことをしないと中途半端になってしまう。

(事務局)

今はまだグループの中の意見のため、最終的にグループの中の代表の方が意見をまとめて、それを持ち寄って決めていく。市長選のことは置いて、一つの区切りとして年度末に提案をしたいということであれば、それに対して事務局側で良い悪いを判断するのではなく、委員のみなさんが一致すれば、それに従って事務局として日程の調整等をさせていただく。

せっかく自主運営で立ち上がっている百人会議なので、ひとつの出た意見で、事務局がそれを受けて進めていくというものではないと考えている。

(意見)

例えば、観光グループなら、観光課の係長にこの会議に来ていただいて、今、どんなこと(施策)を考えているのかなどを話してもらおうということは可能か？

(事務局)

それは要請をしていただければ十分可能である。

(意見)

染谷市長がこの会を立ち上げたと思うが、どういうことを期待してこの会を作ったのか？

(事務局)

人材育成。市民、行政、民間団体などが一緒になって協働のまちづくりを行っていくのが理想形としてある。市民のみなさんの中からも、そういった場面でのリーダーになっていただきたい。

行政に対していろいろと提案をいただく中で、行政と一緒にまちづくりを考えていくため

の会にしたい。

(意見)

それであれば、市の職員がオブザーバーとして、グループに入ってもらえれば解決する。

(事務局)

1期の時もその話は出た。2期でなぜ(職員が)入っていないか。ずっとオブザーバーとして一人の職員が入って受け答えしたことが全て(市の施策として)正解であるかという問題がある。

また、委員のみなさんが必要な時に必要な情報を仕入れて、自由な活動の場を設けてやっていった方がいいのではないかと考える。

このような理由から、職員が個々にグループについて活動をするといったことは想定していない。

(意見)

一番困るのは一生懸命話し合いをしても、その内容が市側に伝わらないことである。無駄である。

(意見)

1回話をして疑問が出たから、それを伝えてすぐに返事をほしいというものではないと思う。もう少し長いサイクルの話ではないかと思っている。当然話し合えば疑問は出るが、分らないと思えば自分達が足を運んで行政に聞いたりすればよい。市の職員をオブザーバーにという意見だったが、一緒になってまちづくりについて考えていきたいという若い職員なら構わないが、市の回答役として職員が入ることはまずいのではないかと思う。

その職員の責任も重いの、職員の方が非常に大変である。回答をすぐにくれすぐにくれという話だが、そういったことはなくてもいいのではないか。2年間かけて練ったものを提案して回答をいただくというサイクルで考えればいいと思う。

(意見)

回答を求めるのではなく、例えば防災でこうしたらどうかという意見が出た時に、すでに市としてやっているものであるか聞くことができれば、無駄を省ける。ずっと話し合ったことが全て無駄だったとうことになりかねない。市がやっていることが分からないため、そういったことを教えてもらいたい。

(意見)

例えば前回の活動で言えば、子育てグループでは市の職員を講師として招いて、現在こういった事業をやっているといったことを勉強した。また、分からないことがあれば市に対して資料請求をした。市も間違いなく対応してくれる。その点については心配ないと思う。

(事務局)

スポット的に職員を上手く活用していただいたり、資料を活用していただく中で、みなさんが自由に議論していただきたいと考える。(市側と委員の)かけあいを中心にと考えると、まちづくりに対する議論の発展性がなくなってしまうのではないかというのもある。

(意見)

招聘すればいいのか？

(事務局)

それは問題ない。

(意見)

百人会議に議員が来ないが、議員にも同じように公平に話をしているのか？一緒にやりませんかという話をしているのか？

(事務局)

議会に対しては当然百人会議のことは説明している。

(意見)

例えば蓬莱橋の件で提案しても、議員側はもう提案しているから 100 人会議の方で言う必要はないと言われてしまう。それなら最初から議員を巻き込んでやっていく方法もあるのではないかと思っ
て発言させてもらった。

(事務局)

あくまでも議員は市民の代表として選出された方のため、それは議場で自分達の役割を持ってや
られていることであるため、そことみなさんが一緒になってまちづくりに関する議論を行なうこと、
提案をいただくことは全く別のことであると考えている。

市民のみなさんの意見というものを真摯に受け止めて回答をさせてもらうというのは、一つのス
タンスとして持っている。

(意見)

百人会議というのは自分達でやっていくもので、例えば、そのグループで直接議員に声かけして
来てもらうということは可能だと思う。議員が来るかどうかは分からないが。そのぐらいに幅を広げ
て考えていってもいいのではないか。

(事務局)

前回と今回の全体会は、自由な話し合いという形式で開催させていただいた。次回も同様にグルー
プでの話し合いからスタートをしたいと考えている。その中で、みなさんの中でこういったテーマ
で話を進めていきたいといった、先を見据えた形での話し合いをしていければいいと思っている。
時期的には1ヶ月後ぐらいに開催したいと考えている。

(意見)

昼間の開催が連続しており、出たいけど仕事で出られないという人もいる。みなさんの意見を聞いて
みて、承諾いただければ1回ぐらい夜に開いたらどうか。

1回ぐらい夜やってみたらどうかという意見が出たため、平日も含めて、次回の会議は夜に開催す
ることに決定。6月中旬ぐらいに設定させてもらう。

以上

4. 閉会